

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度の取組検討）

施策No	421						
施策名	生活を豊かにする生涯学習の推進			施策の目的	● 主体的な生涯学習を推進し、学習成果を地域社会へ還元します。 ● 青少年の健全な育成を図ります。 ● 生涯学習の場を提供します。		
施策主管部長	教育部長		施策幹事課長	生涯学習課長	関係課	市民生活課、少年指導センター	

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察

① 中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

	指標	単位	実績基準値	実績値					最終年度（R7）の 目標値達成状況	左欄の「目標値達成状況」の総括
			R2	R4	R5	R6	R7	R7		
a	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	29.9	34.4	33.4	33.9	34.1	34.0	②目標値どおり	目標値を達成したが、実績値は、ほぼ横ばいで推移している。
b	学習成果を還元している市民の割合	%	7.0	28.0	24.8	26.6	29.7	14.5	①目標値を上回った	実績値は、年度により増減はあるが、増加傾向にあり、目標値を上回った。
c	自分が成長し自立したと感じる新成人の割合	%	65.0	100	100	96.6	100	95.0	①目標値を上回った	実績値は高水準で推移し、目標値を上回った。
d	楽習講師を活用した講座数【楽習講師が社会還元した件数（年度ごとの講座実施数）】	件	45	159	184	173	167	340	③目標値を下回った	コロナ禍から回復傾向にあったが、その後、減少に転じ、目標値を下回った。

② 後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

	対象	対象指標			単位	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	R9(見込)	R10(見込)	R11(見込)
①	市民	市人口（社人研推計）			人	115,700	114,695	113,498	112,515	111,388	110,515	109,641	108,768
②	市内の青少年	小学校 5 年生から29歳の人数			人	18,918	18,696	18,608	18,364	18,489	18,158	17,827	17,496
③	生涯学習施設	生涯学習施設の数			件	42	42	42	42	42	42	42	42
④													
目的		成果指標		単位	区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
①主体的な生涯学習を推進し、学習成果を地域社会へ還元します。 ②青少年の健全な育成を図ります。 ③生涯学習の環境を整えます。	①	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	目標値	31.0	32.0	33.0	34.0	34.5	35.0	35.5	36.0	
				実績値	34.4	33.4	33.9	34.1					
	②	学習成果を還元している市民の割合	%	目標値	13.0	13.5	14.0	14.5	27.5	28.0	28.5	29.0	
				実績値	28.0	24.8	26.6	29.7					
	③	自分が成長し自立したと感じる二十歳のつよい参加者の割合	%	目標値	－	－	－	95.0	95.5	96.0	96.5	97.0	
				実績値	－	－	－	94.1					
	④	生涯学習の環境が整っていると感じる市民の割合	%	目標値	－	－	－	43.1	43.5	43.9	44.3	44.7	
				実績値	41.0	43.7	42.7	44.1					

(2) 基本方針の取組状況

① 特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

・佐野・芦屋青少年交流事業、青少年活動育成促進事業等により、体験的な学習機会を提供し、青少年の健全育成を図った。

② 計画通り進捗していない取組

※理由及び今後の対応も含めて記載

・楽習出前講座の開催では、講座メニュー数が、ほぼ横ばいで推移している。出前講座を行う楽習講師数は、新規登録があるものの高齢化等による登録解除が上回り、講師全体としては減少傾向にある。幅広い世代への学習機会の提供のため、楽習講師の確保が必要である。
・令和4年度以降、公民館のトイレ洋式化及び空調設備改修、図書館のトイレ洋式化、作原野外活動施設の給水設備改修等を実施し、市民が安心して利用できる学習環境を整備したが、施設の老朽化により、引き続き設備の改修・修繕を実施する必要がある。

(3) 令和7年度行政経営方針の取組状況

① 令和7年度行政経営方針

・図書館、各地区公民館等の生涯学習施設を計画的に改修・修繕を行い、快適な学習の場の提供を図る。
・幅広い世代、特に若い世代が生涯学習に取り組めるよう、多様な学習メニューを提供し、広報紙や市ホームページ、佐野ケーブルテレビ等の様々な媒体を利用して周知を図る。
・オンラインによる遠隔地の講師等の活用やデジタルを活用した講座など、新たな学習ニーズへの対応を図る。
・青少年を対象とする体験的な学習を実施するとともに、青少年健全育成のための学習活動を実施している青年団体を支援する。

② 令和7年度行政経営方針の取組状況

・図書館のトイレ洋式化を行った。各地区公民館、図書館等の修繕を行った。
・各種講座については、広報紙や市ホームページ等に掲載するとともに、生涯学習情報をまとめたメニューパンフレットを年2回発行し、市内の施設、関係団体等に配布し、情報発信を行った。
・県主催の家庭教育に関する研修において、市役所の会議室を使用してオンラインで受講できる環境を提供した。
・佐野・芦屋青少年交流事業、青少年活動育成促進事業等を実施し、青少年への体験的な学習機会を提供した。青年団体に対して補助金の交付や活動支援を実施した。

(4) 環境変化や関係者の意見、要望等

・議会において、楽習出前講座などの各種講座の受講者拡大への取組や、生涯学習の環境整備を求める意見が出されている。

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

(1) 課題

①生涯学習メニューの充実と周知
②デジタルの活用による生涯学習の講習や講座の開催
③青少年の健全育成に係る研修や交流会の開催
④各地区公民館を始めとする生涯学習施設の改修による学び及び発表の場の提供
⑤葛生文化センターの更新

(2) 課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

①幅広い世代が生涯学習に取り組めるよう、多様な学習メニューを提供し、広報紙や市ホームページ、SNS等を活用して学習情報の周知を図る。
②オンラインによる講座の実施など、新たな学習ニーズへの対応を図る。
③青少年を対象とする体験的な学習活動の機会を提供するとともに、青少年健全育成のための学習活動を実施している団体を支援する。
④図書館や各地区公民館等の生涯学習施設を持続的に運営できるよう、計画的に改修・修繕を行い、学習の場の提供を図る。
⑤葛生文化センターの更新について検討し、取組方針を決定する。

(3) 次年度(令和9年度)の取組(案)

①幅広い世代が生涯学習に取り組み、学習成果を社会還元できる機会を提供するため、学習情報を発信するとともに、学習メニューの充実に向け、楽習講師制度を周知し、講師の確保を図る。
②新たな学習ニーズへの対応を図るため、デジタル技術を活用した講座などを実施する。
③青少年の健全育成を図るため、体験的な学習活動の機会を提供するとともに、青少年健全育成のための学習活動を実施している団体を支援する。
④持続的な学習及び発表の場の提供を図るため、生涯学習施設（図書館・各地区公民館等）の設備・機器類について、点検結果に基づき、計画的な改修・修繕を行う。
⑤安心して利用できる生涯学習施設の確保のため、葛生文化センターの取組方針に基づき、整備を行う。

※重点取組は太字・下線で記載